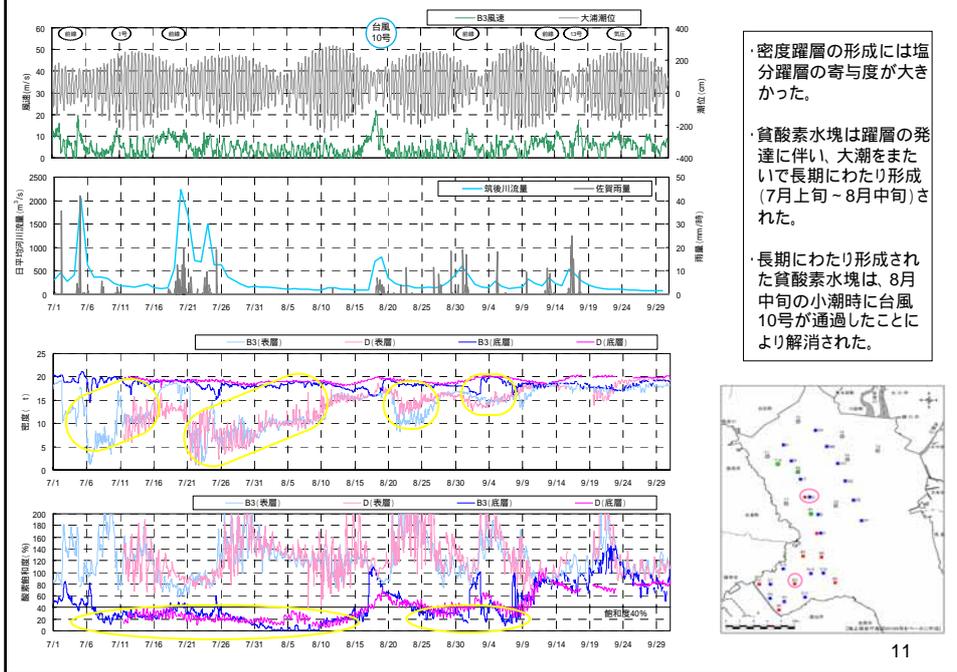
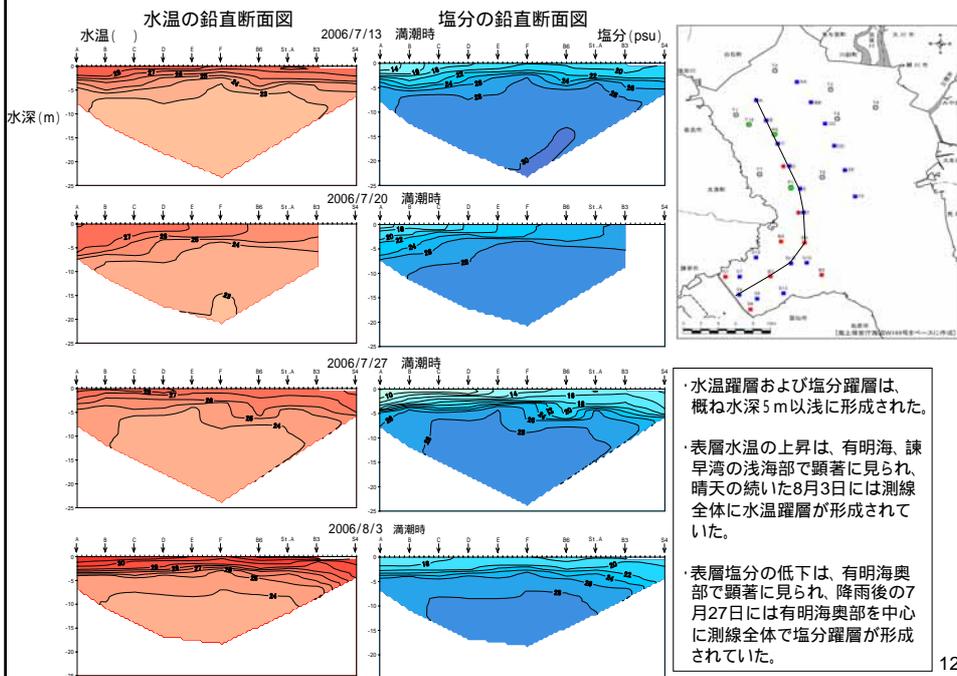


B3、D地点における密度躍層と貧酸素水塊の形成状況(7月1日~10月1日)



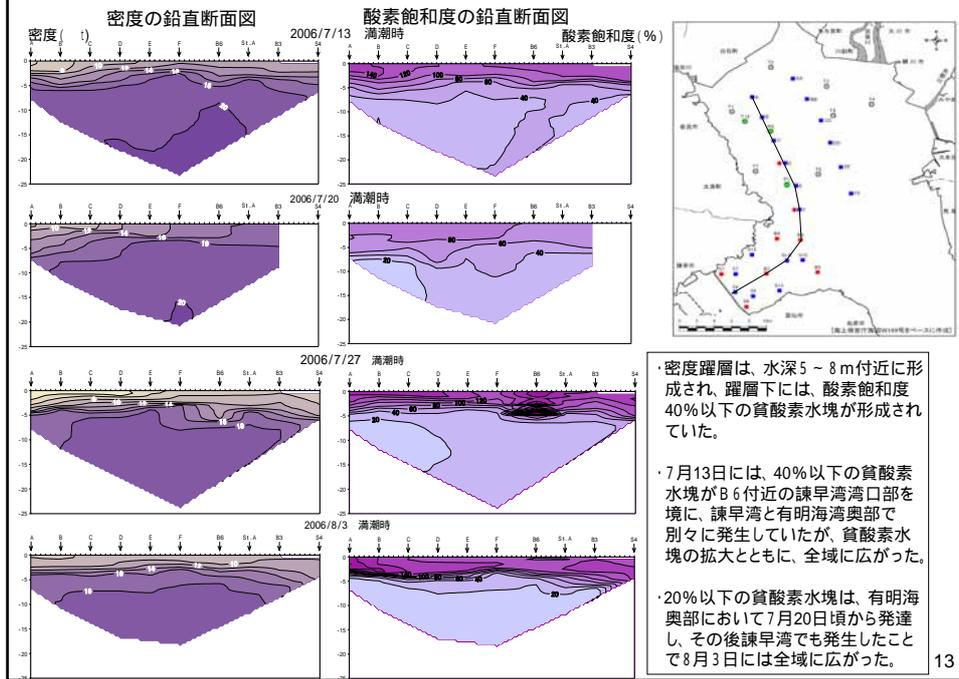
- ・密度躍層の形成には塩分躍層の寄与度が大きかった。
- ・貧酸素水塊は躍層の発達に伴い、大潮をまたいで長期にわたり形成(7月上旬~8月中旬)された。
- ・長期にわたり形成された貧酸素水塊は、8月中旬の小潮時に台風10号が通過したことにより解消された。

一斉鉛直観測【水温躍層、塩分躍層の形成状況:2006年】



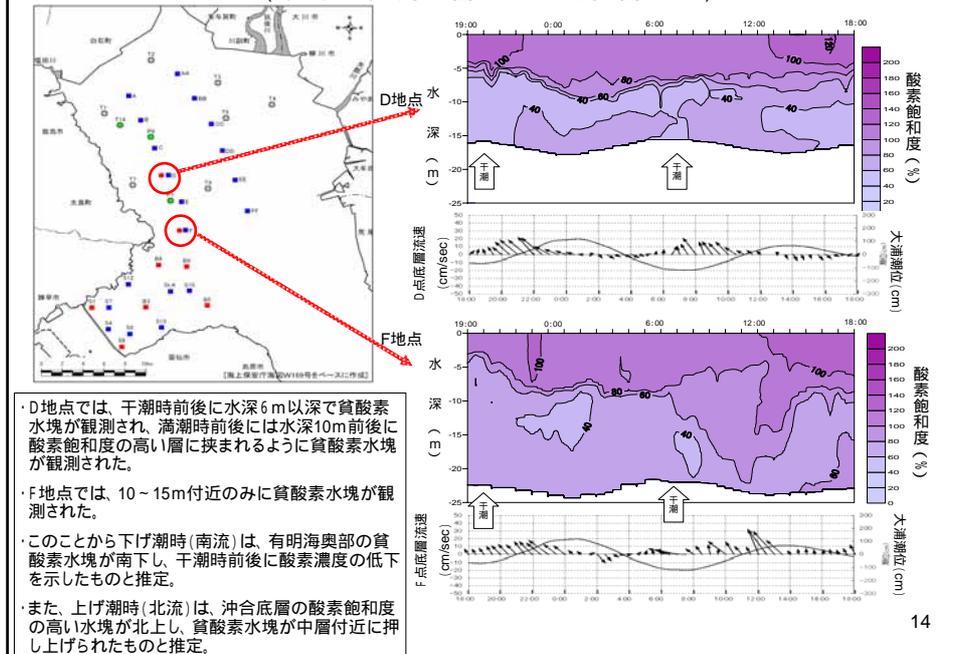
- ・水温躍層および塩分躍層は、概ね水深5m以浅に形成された。
- ・表層水温の上昇は、有明海、諫早湾の浅海部で顕著に見られ、晴天の続いた8月3日には測線全体に水温躍層が形成されていた。
- ・表層塩分の低下は、有明海奥部で顕著に見られ、降雨後の7月27日には有明海奥部を中心に測線全体で塩分躍層が形成されていた。

一斉鉛直観測【密度躍層、貧酸素水塊の形成状況：2006年】



13

24時間連続鉛直観測：酸素飽和度の経時変化 (平成18年8月31日18:00～9月1日18:00)



14